

2019年9月24～26日

担当教員：寺地幹人

当ゼミナールでは、前期のゼミナールでの学びを大学外へ発信する機会を設定し、また、各学生の研究をより一層深化させるため、研究者および他大のゼミへの訪問を伴う合宿を2019年9月24日～26日に実施した。

主な内容は、(1)前期のゼミナールで輪読したテキストの著者（大阪大学・吉川徹教授）に直接お会いして輪読の成果をフィードバックする、(2)同志社大学社会学部の轡田竜蔵ゼミを訪問して合同ゼミナールを行う、という2点である。また、当初計画に追加して、京都国立近代美術館にて開催されている企画展「ドレス・コード？——着る人たちのゲーム」を観覧し、また、会場にて企画者である小形道正先生による解説をうかがった。

(1)の成果としては、書籍を読んだ疑問を著者に尋ねることで、書籍を読むだけでは触れられなかった著者の考えや執筆にあたった研究の経験などをより深く知ることができた点が挙げられる。また、普段の教室での学びが学外に開かれていること、更には著名な研究者との対話に通じていることを実体験する機会となった。(2)の成果としては、同世代かつ初見の相手に各自の研究を適切に理解してもらうためにはどのような工夫が必要か考える機会になり、また、研究内容自体の質の向上にも有効であった点が挙げられる。追加訪問先においては、当ゼミナールの専門分野である社会学に関連した展示を視察することで、専門分野の知識や物の見方のバリエーションを増やすことができた。

以上のように、大学内の学びと大学外の学びのリンケージを近隣地域にとどまらずに実践した本事業は、現在の茨城大学の教育方針にも合致しており、非常に大きな教育効果をもたらしたといえる。

